

医師の日常業務について

皆さまに当院の医師についてより一層のご理解をいただくため、各医師の日常業務をシリーズで紹介してまいります。

岸 俊行 先生（内科）の一週間

月曜日の午前は外来診療を行っています。内科の中でも肺がんや気管支喘息、慢性咳嗽などの呼吸器疾患を中心に診察をしています。咳が続く方は一度受診してみてください。午後は胸部X線検査で異常陰影を指摘された方の精査として気管支鏡検査を行っています。

火曜日の午前は内科へ入院されてリハビリを行っている方を対象にリハビリの評価のための回診を行ったり、健診者の胃内視鏡検査を行ったりしています。午後はアレルギーの専門外来（予約制）を行っています。主に気管支喘息を対象としています。

水曜日の午前も外来診療を行っています。午後は内科系の患者さんの救急車受け入れや、急患の対応を行っています。

木曜日の午前は隣地にある特別養護老人ホーム「楽々苑」に出向き、配置医師として入所者さんの回診を行っています。

金曜日の午前健康診断バスに乗り、事業所等に出向き、定期健康診断や生活習慣病のチェックを行っています。午後は慢性呼吸不全などの呼吸器疾患の専門外来（予約制）を行っています。

言うまでもありませんが、入院患者さんの診察や治療方針の検討については、毎日行っています。

病棟では必要に応じて胸腔穿刺などの処置も行っています。



別宮 小由理 先生（麻酔科）の一週間

麻酔科医の仕事について、皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。ずっと手術室にいて麻酔をかけて眠らせているという印象が強いかもしれませんが、それだけではありません。

大まかに、3つの仕事があります。

1つめは術前診察です。カルテの確認や診察で患者さんを詳しく知り、その人に合った麻酔を考えます。手術や麻酔の不安が和らぐよう外来でお話しし、またお話を聞いて、合併症や体調、手術に合わせて麻酔の方法や薬を選び計画します。

2つめは手術中の麻酔管理です。麻酔は眠って終わりではなく、その後も管理が続きます。麻酔の前にはいろいろなモニターを付けます。眠っている間は、不調があったとしても患者さん自らがそれを伝えられないため、モニターから集まる多くの情報（心拍数や心電図、血圧、酸素飽和度、呼吸、脳波、体温など）や注意深い観察が、患者さんに代わって伝えてくれます。手術をする医師とも連携して、最適な体の調子を保てるようにずっと麻酔の調整を続け、手術が終わったあとスムーズに目覚め、痛みが少なくなるようにサポートします。

3つめは術後診察です。手術が終わって病棟へ帰ったあとも、不安や痛みが（残念ながら、完全にゼロにすることは難しいのですが）ゼロに近づくように、またリハビリがうまく進められるようにサポートします。皆さんが安心して手術に臨み、執刀医が手術に集中できるよう日々努めていますのでどうぞよろしくお願いします。



大越 祐一 先生（外科）の一週間

外来診療については月曜日の午前に乳腺外来、木曜日の午前に一般外科外来を行っています。乳腺外来では乳腺の異常にご自身で気がつかれたり、乳癌検診で異常を指摘されたりした方の診察をしています。乳房や脇の下にしこりを触れる、乳房に張った感じや違和感があるなど気になることがある方は当科を受診ください。水曜日と金曜日の午前は健康管理センターかがわの健診バスで香川県内を巡回して健診業務に従事しています。健診者の方の診察や結果の説明を行います。月曜日から水曜日のお昼前には人間ドックやPET健診ご利用の方の乳腺・甲状腺のエコー検査なども行っています。火・水曜日の午後は訪問診療を行います。病院受診が困難な患者様などを対象に計画的にご自宅を訪問して診察を行います。事前に計画が必要となりますので、ご利用については担当のケアマネジャーさん、もしくはかかりつけ医療機関のソーシャルワーカーさんにご相談ください。月曜日の午後は外科系の患者様の救急車対応を行っています。朝は他のスタッフとともに入院患者様の回診も行っており、夕方は、当日検査したマンモグラフィーやエコー検査の読影および健診者のレポート作成に時間を当てます。

また当院では航空機パイロットの国土交通省指定身体検査も実施しており、これからパイロットを志して大学等への進学をお考えの方にも対応しています。検討される方は、まずはお電話にて連絡をお願いします。



近石 昌也 先生（内科）の一週間

月曜日の午前は内科外来診療、午後は内科系の患者さんの救急車受け入れや、救急オンコール対応を行なっています。私の専門は消化器内科ですが、内科医として幅広く診療し適切な医療を提供できるよう務めています。火曜日は終日内視鏡を担当しています。主には午前が胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）で、午後は大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）や上部・下部を問わず早期癌やポリープに対する内視鏡治療を行なっています。水曜日は終日、外勤として丸亀市綾歌町岡田にある小林医院で診療をしています。

木曜日の午後は消化器内科の専門外来です。胃癌による死亡数は減少傾向にありますが、いまだに年間約4.5万人の胃癌死亡があり、ピロリ菌の除菌が普及してきた現在も除菌後胃癌を適切に診断、治療することが重要です。また、大腸癌は高齢化や食生活の欧米化などにより近年増加傾向にあります。患者数は50代で急に増加し高齢になるほど多くなり、女性の癌による死亡数の第一位を占めています。早期発見できれば完治を目指せる癌ですので、



便潜血検査で陽性が出た方や、長い間便秘で悩まれている方など、まずはお気軽にご相談下さい。

金曜日は火曜日と同様、内視鏡を用いた検査・治療などを行なっています。

もちろんそれ以外にも入院患者さんの診療を毎日行っています。内科全体としても定期的に入院患者さんについてのカンファレンスを行い、それぞれの専門の先生らと適宜相談しています。綾歌地区の皆様の健康のために今後とも精進していく所存です。お身体に心配なことなどがあればいつでもご相談ください。